



## コーポレートガバナンス／コンプライアンス／リスクマネジメント

### コーポレートガバナンス

当社は、監査役による監視・監督のもと、取締役会が業務執行についての重要な意思決定を行うガバナンス体制を採用しています。また、一般株主と利益相反を生じることのない立場（独立役員）の社外取締役を迎え、健全で透明性の高い体制を整備しています。

内部統制システムの整備・評価の実施部門として内部統制部を設置し、「内部監査規程」に基づき、工場、営業拠点および子会社等の会計・業務監査を行っています。

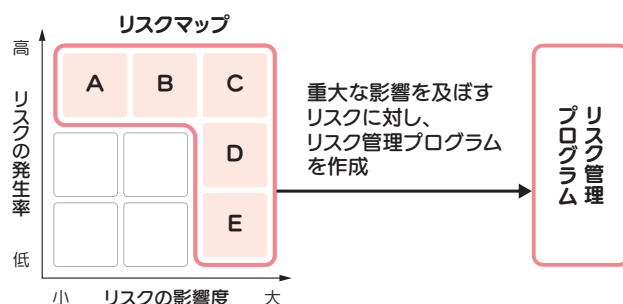
### コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスを企業経営の基本とし、法令や社内規程を遵守するとともに、社会倫理や道徳を尊重し、社会の一員であることを自覚した事業活動を行うよう努めています。「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス教育やリスクマネジメントの継続的な改善・強化に取り組んでいます。また、同委員会は通報者のプライバシーが守られるように配慮しながら、従業員からの相談・報告に対応する内部通報制度の運営など、コンプライアンスやハラスメント対策の実行性を担う役割も果たしています。

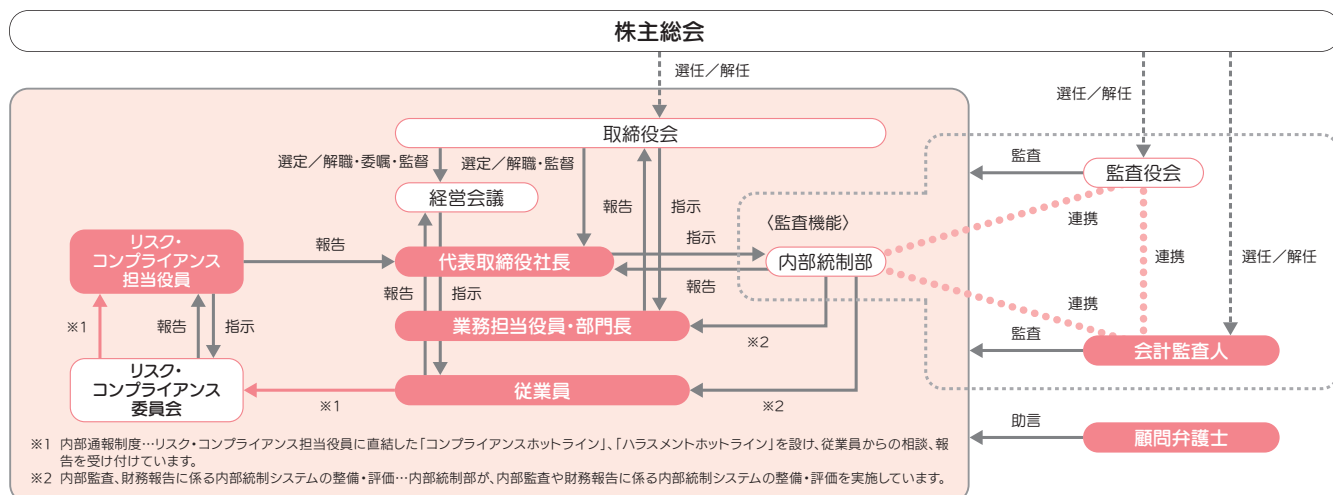
### リスクマネジメント体制

当社は、会社法の定めに基づき「損失の危険の管理に関する規程」を制定しています。重要な業務は、執行に伴うリスク分析や対策の検討をしたうえで、経営会議や取締役会で審議・決定します。また、「リスク・コンプライアンス委員会」では、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生した場合の影響度などを分析・評価して、「リスクマップ」を作成しています。グループ経営に重大な影響を与えるリスクについては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行することで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスク管理と体制整備を推進しています。

#### リスク管理の概要



### コーポレートガバナンス体制図



## コンプライアンス教育を継続的に実施

当社は、役員および全社員が、コンプライアンスを深く理解し、実践できるよう、継続的な啓発活動およびコンプライアンス教育を実施しています。

毎年、全社員を対象にして、コンプライアンスに関わるさまざまなモデルケースを取り上げたeラーニングを実施しています。各ケースの問題点について解説し、適切な行動がとれるように工夫しています。また、毎月「RISOコンプライアンス便り」を発行し、イラストを交えたわかりやすい事例で、コンプライアンスを身近なこととして考えるきっかけを提供しています。



「RISOコンプライアンス便り」

## 「安否確認」の全社一斉訓練を実施

2017年8月、防災の日を前に常勤役員、国内社員およびパート社員を対象に「安否確認」の全社一斉訓練を実施しました。仮定した地震災害の発生後、2時間以内に対象者97%からの安否報告を確認しました。訓練の対応と振り返りを行うことで、迅速で適切な対応がとれるよう備えています。

## 法規制の遵守状況

当社に適用となる環境関連法規制等の2017年度の調査の結果、重大な環境関連法規制等の違反はありませんでした。行政機関から罰金や行政指導は受けておらず、また地域社会より環境に関わる苦情も受けていません。



COLUMN

## 「環境コミュニケーション大賞」 環境報告書部門 優良賞を受賞

当社発行の「環境経営報告書2017」が、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「第21回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門の優良賞を受賞しました。第18回につづき、2度目の受賞となります。

選考委員会からは「開発、製造、調達、物流、営業サービス活動などの事業活動全般を通じて環境負荷の全体像を明らかにするとともに、事業活動ごとに豊富な環境データ等を時系列で詳細に提供している」との講評をいただきました。

今回の受賞を励みに、これからも環境への取り組みと情報開示に積極的に取り組んでまいります。

